

塵も積もれば山となる

神奈川県立横須賀南高等学校3年（神奈川県）

長川 千歳

今年5月、久しぶりに恩師に会いに行った。

恩師は中学校の教師である。私は中学生の頃、人付き合いが少なく、内向的な性格だった。先生はそんな私の言葉一つひとつに耳を向け、興味のあることはなんでも挑戦させてくださった。茶道を始めたきっかけも、先生が茶道に興味を持った私に、毎日盆略点前を教えてくださったからである。

先生が教えてくださった茶道の世界で私は多くの人と出会い、多くの学びを得た。特に大きく影響を与えたのは高校の茶道部の先輩方である。

先輩方からは引退までの間に多くのことを教わった。例えば、後輩を教える際の厳しさと優しさの加減だ。先輩が在学中は気づかなかったが、私達部員が3年生になり新しく後輩ができて、初めて教育することの難しさを知った。後輩教育に関してはまだまだ改善点があるが、自分をここまで伸ばしてくださった彼らの行動を思い出しながら少しずつサポートしていきたいと思う。

そして5月、恩師に会い近況報告をした。出来るようになったこと、褒められたことを積み木のように話していく私を見て先生は驚いていた。なぜなら、そこに数年前までいた内向的で周りに認められた経験も少なかった私が少しも見えなかったからである。中学生の頃と比べ、私は社交的になっていた。

「前よりも明るくなったね。どうしてここまで変わったのだろうか」

先生は私に聞いたが、その時はまだ自分では自覚できなかった。しかし今なら理解できる。今まで出会ったたくさんの人達の教えが私を変えてくれたのだ。

振り返ってみれば恩師、部活動の先生、先輩や同級生、お茶会で関わった方々。それぞれ一つ教わり一つ学んでいった経験を多くの人と出会い積み重ね、気づけば大きな成長へと繋げていたのだと知った。「塵も積もれば山となる」という言葉があるが、まさにこのことを言うのだろう。

そして今、私には課題がある。それは、自分が引退するまでの短い期間で伸びしろのある後輩をどれだけ成長させられるかということである。私は自身を変えてくださった多くの教えを後輩へ語り継いでいきたい。そして小さな成長を重ね、共に大きな山をつくっていききたいと思う。